

K2-SPRING / K-BOOST 募集にかかる説明会（2024/04/25） FAQ

質問事項		回答
K2-SPRING, K-BOOST 共通		
1	D2～D4 は申請できますか？	D1 以外は申請できません。
2	今年度から応募資格が D1 のみとなったのは何故でしょうか？	D2 からでは、プログラム生の義務である科目を全て取得するのは難しい事、このプログラムは奨学金の様な単に経済支援を目的としたものではなく、科目取得と並行して院生融合プロジェクトへも参画してほしい事、以上の事から、今年度より D1 のみからを研究支援対象とする事になりました。
3	K2-SPRING もしくは K-BOOST の出願にあたり、国費外国人留学生は申請可能でしょうか？	いずれも申請不可です。
4	学府宛てに「長期履修制度」の申請を行っているのですが、承認された場合、当プログラムへの申請は可能でしょうか？また、両立可能でしょうか？	長期履修制度を申請し、承認された場合、本プログラムへの申請は可能であり、両立も可能です。 ただし、採択された場合も支援期間は標準修業年限である3年間（4年制の場合は4年間）のみとなりますので、ご注意ください。
5	今年4月から翌年3月まで、JASSO 学習奨励費をもらえます。本プロジェクトの審査にマイナスの影響はありますか？	審査の段階ではマイナスの影響はありませんが、プログラム生となった場合、重複受給は出来ません。
6	高専出身者の成績証明書ですが、高専本科と専攻科の両方必要でしょうか？	両方必要です。
7	九州大学以外で学部・修士課程を卒業したのですが、どこの成績証明書を提出すれば良いでしょうか？	ご自身が卒業・修了した大学の学部・修士課程の成績証明書を1つのPDFにまとめて提出してください。
8	修士課程と博士課程で指導教員が異なります。評価書はどちらに依頼すれば良いでしょうか？	修士課程と博士課程の指導教員が変更になる場合は、博士課程の指導教員に評価書を依頼してください。 なお、評価書を作成した先生が、あなたの研究費を管理して頂く事になりますので、その点、先生に承諾をもらってください。 併せて、もしその先生が九大病院所属でいらっしゃる場合は、研究費配分を行うことができませんので、該当す

		る場合は、事前に窓口へメールでお問い合わせください。
9	申請書の Word ファイルに関して、行間のポイントを調整してもよろしいでしょうか？	はい、常識の範囲内であれば調整していただいても差し支えありません。
10	必修科目のキャリア開発講座は、伊都キャンパスでの対面もしくはオンライン、どちらで開講されるのでしょうか？	講師の熱量等を直に触れる事により、プログラム生にとってより大きな成果を得る為、対面での開講が基本です。 その為、他キャンパスの方も伊都キャンパスまでお越し頂く必要があります。 なお、当該講義は複数の講演を準備していますので、ご都合の良い日を選んで履修してください。
11	履修科目の開講日程がわかる資料はありますか？	申し訳ございませんが、まだ詳細が定まっておりません。
K²-SPRING		
1	令和5年10月に入学したD1です。SPRINGの申請は可能ですか？	K ² -SPRINGは申請可能です。なお、K-BOOSTは申請不可です。
2	二次審査予定日にどうしても都合がつかない場合はオンラインまたは予備日の設定等がありますか？	面接はオンラインで実施する予定です。国外にいる場合などは時差等を出来るだけ配慮する予定ですが、まずは二次審査対象となった際に、個別にご相談ください。 なお、審査にあたっては学外有識者も参画する関係上、調整がつかない場合は夜中でも受験頂く場合もあります。
3	学振への併願申請はできますか？	可能です。来年度DC2に採択されK ² -SPRINGの経済支援を辞退する場合も、可能であれば、K ² -SPRINGに在籍しプログラムを続けてほしいと考えます。 K ² -SPRINGは経済支援だけを目的としたプログラムではなく、他分野との交流を目的としたプログラムですので、自己研鑽の意味でもプログラムの継続をお願いします。
4	今春採用期間が始まった日本学術振興会特別研究員(DC1)を来月までに辞退した場合、申請することは可能でしょうか？	募集要項に記載のとおり、R6年4月1日時点で学振特別研究員の支援を受けている方は申請できません。

5	「我が国に直接携わる」とはどの程度のことを指していますか？	培った能力を発揮し、大学官公庁の研究（基礎研究を含む）もしくは、産業界での研究など、将来的に我が国を開拓・牽引していく様なトップレベルの研究に携わることを指します。
6	博士研究課題と違う内容というのは、博士研究課題から派生した内容でも異なるとみなされますか？	派生した内容であっても構いませんが、申請者自らの着想に基づいた、オリジナリティーのある研究提案であることが必要です。 また、研究提案の質やオリジナリティーについては、指導教員による評価書において評価されます。
7	申請条件に「博士課程修了後も我が国の科学技術・イノベーションの創造に直接携わる意思、能力を有し、修了後の進路もそれに沿うことができる者。」という記載があるかと存じます。 「直接」というのは、例えば海外で研究を行い論文という形で日本の科学技術に貢献することは直接ではなく、間接的になるのでしょうか？	残念ですが、それだけでは間接的かと存じます。
8	海外での経験や知見をもとに日本に持ち帰ると直接的なものになるのでしょうか？	募集要項に記載されていますように、博士取得後10年間は国による追跡調査がなされます。すなわち、10年間は日本国の研究機関や企業等において、直接的にイノベーションに貢献することが求められるプログラムです。 一方、例えば海外での博士研究員等を経た後に、10年以内に我が国で新たなイノベーションの創造に寄与される場合には、直接的な貢献と判断されます。
9	申請書に「博士課程における研究内容」内に図を用いてという記載がありますが、この図は白黒またはカラーどちらか指定がありますでしょうか？	指定はありませんが、専門外の評価者が理解しやすいように工夫された図であることが望ましいです。
10	図を入れることに関しては、博士課程の研究内容以外での「K2-SPRINGの研究費支援を受けて実施する研究内容」や「K2-SPRINGの志望動機ならびに修了後の進路	入れることは可能です。但し、定められた頁数（文字数制限がある項目は文字数も）は超えない様ご注意ください。

	予定等」などにおいても入れることは可能なのでしょうか？	
11	申請書の研究費の予算計画について、何年目の計画を記載すれば良いのでしょうか？	研究費の予算計画は、1年目の予算計画をご記載ください。 また、プログラム生に採用された場合、毎年度、継続審査の際に、翌年度の研究計画書を作成いただきます。2年目以降の内容は、その際に詳細を記載してください。
12	プログラム生合格後、RAとの両立は可能でしょうか？	K ² -SPRINGとRA双方でエフォート管理が出来るのであれば可能です。但し、K ² -SPRINGでの研究はRAの研究そのものではなく、申請者自らの着想に基づいたオリジナリティーのある研究提案である事が必要です。
13	ジョブ型インターンシップへの登録は実際にインターンシップへ参加することも必須ということでしょうか？	ジョブ型インターンシップへの登録は必須ですが、インターンシップへの参加は希望者のみです。
14	授業料免除ですが、別途入学料・授業料免除申請を行っている場合も、一括して半額免除になるのでしょうか？	一括して半額免除になるのは授業料のみです。 入学料免除：ご自身が申請を行っている場合は、その判定結果に従ってください。 授業料免除：ご自身が在籍する課程の標準修業年限が満了する学期まで、授業料半額を免除します。 但し、予算措置の状況等により支援内容の変更を行う場合があります。 既に、今学期の授業料免除（独自制度）申請を行っている方はそのまま構いません。 授業料免除（独自制度）審査の過程で、特に経済的困窮度が高いと判定された方については、全額免除判定となる場合があります。なお、来年度以降ですが、ご家庭の事情により経済的困窮度が高いと思う方は、授業料免除（独自制度）を申し込んでください。
15	採用2年目以降に、学振DC2の特別研究員に採択された場合、1年目の支給分を返還する必要はありますか？	ありません。
K-BOOST		
1	マスフォアの学生がK-BOOST採択となった場合、所属学府はどこになりますか？	直接、卓越大学院プログラム事務室に確認をお願いします。

2	AIに関連する研究の定義とは何でしょうか？	<p>ご存じのように AI と称される研究分野は日々広がっており、これを特定の定義で確実に表現することはできません。広義には、文字通り「人工的に知能を実現するための研究」ということになるでしょう。</p> <p>なお、JST は対象を「AI 分野及び AI 分野における新興・融合領域」としており、特に後者は「様々な学術分野の課題特性に特化させることで生まれた新しい AI」を意味すると判断します。</p>
3	<p>現在 M1 で日本学生支援機構奨学金第 1 種奨学金を貸与中です。</p> <p>奨学金返還免除申請を希望しているのですが、予約採用で採択された時点で現在の奨学金 1 種の返還免除申請は対象外となりますか？博士後期課程進学後の返還免除申請は対象外になる事は承知しています。</p>	<p>修士課程での返還免除申請は可能です。提出は、部局学生係もしくはキャリア奨学支援課奨学金係の指示に従ってください。</p>
4	予約採用された場合でも辞退することは可能ですか？	<p>致し方ないご事情がある場合は、辞退することを妨げる事は出来ません。</p> <p>しかしながら、本プログラムの申請資格のひとつに「本プログラム修了後培った能力を発揮し、我が国の科学技術・イノベーションの未来を拓くことに寄与する意欲を有している者」とあります。</p> <p>出願に際しては今一度、この志もよくお考え頂き、他方、合格者は、多数の志願者が不採択となっている現状を鑑みた上で、慎重なご判断を求めます。</p>
5	申請書に記載する研究計画は、自身の博士論文の研究(AI 関連ではない)とは異なる AI 関連の研究という認識で間違いはないでしょうか？	<p>間違いございません。博士論文研究ではない、ご自身のアイデアに基づく独自の AI 関連研究内容をご記載ください。</p>
6	提出書類の「卒業論文/学会発表論文の PDF ファイル」を現在国際学会にて査読中の論文で提出することは可能でしょうか？	<p>卒業論文と現在国際学会にて査読中の論文、両方ともご提出をお願いいたします。</p> <p>また、提出の際には上記論文を 1 つの PDF ファイルにまとめてご提出ください。</p>